

□日時：2021年（令和3年）4月25日（日）13時半～15時半
□場所：ウエルパルクまもと（熊本市中央区大江5丁目）会議室

※新型コロナ感染対策として、机1台に1名着席、時間は2時間までとした。また、熊本県では県主催行事の自粛もあり、参加は見合わせていただきました。

第17回「ピースくまもと」設立準備会事務局会概要報告

8 / 3版

1 開会挨拶 ……ピースくまもと設立準備会事務局会代表 小山和作
コロナ感染状況が身近に迫り、併せて酷暑のなかですが時間等に配慮して、感染拡大で実施が保留となっていました。3ヶ月ぶりで開催します。各種の協議を重ね、使命感を持って進めていきます。

2 参加者自己紹介

（各自の近況・活動状況等を簡単に紹介してください。※順不同敬称略）

- 参加：小山和作、安藤富士記、上村真理子、上田欣也、堀 浩太郎、高山賢輔、高谷和生
- 欠席：吉田正昭、久米野安俊、有馬信一、三隅康資、二見正輝、勝又俊一、矢加部和幸、高野誠二、伊藤利明、永田 昭、赤瀬 恵、多田喜一郎、末永 崇、戸崎孝行、青木 栄、山野幸司、宮川和夫、佐藤武敬
- オブザーバー・参加：合志市歴史資料館隅倉雄一館長 熊本市政策局総合政策部政策企画課松下修二郎副課長
- オブザーバー：本田清悟、中山 直、鄭 一止、黒木伸男、児玉 望、中宮俊幸、船崎三義、乃美勝彦、中熊慎一、熊本県社会福祉課竹下課長補佐・河端主任主事、熊本市教育委員会事務局教育総務部熊本博物館坂本康祐館長補佐



小山和作代表の開会挨拶

3 概要報告・全体協議

(1) くまもと戦争と平和のミュージアム設立趣意書 資料1

- 「一般社団法人 くまもと戦争と平和のミュージアム設立準備会」もしくは「NPO法人 同」からの発出としたい。
- これまで時間をかけて第16回事務局会まで十分に協議を行い、文言整理を行ったので本日で決定したい。
- これ以上の文言追加・修正はない。本案で成案とする。
- 発出は「…呼びかける会」と「…設立準備会」とを併記し、両者から発出としたい。

(2) 「くまもと戦争と平和のミュージアム設立」基本構想(案)：4枚 資料2

「同」の基本構想(案)：1枚 資料3

- A4版4枚の「基本構想(案)」は、事務局員手持ちの説明資料である。
- A4版1枚の「基本構想(案)」呼びかけ人募集時での配布資料としたい。記載内容の確認後に、デザインは外部に有償委託・業者印刷5000枚（上村さん預かり金の一部を利用）としたい。
- 「本基本構想案は趣意書案とのカラー両面印刷」で、8月末までに役員会でデザイン等を検討する。その後9月には全員にメールでお知らせし、意見を聞き、「事務局連絡先・会計が決定、一般社団法人の手続きが終了」となれば、次回10月までに印刷チラシを準備したい。



前半の会議終了後での換気休息の様子

(3) 「(仮) くまもとに戦争と平和のミュージアム設立を呼びかける会」一覧 資料4

- 「呼びかけ人」代表の選出、活動の核となる「発起人」の位置付けと選出は検討中

(4) 体制整備の協議

- 「一般社団法人（非営利徹底型法人）」もしくは「NPO法人（特定非営利法人）」のどちらかとし、社会的安定観のある「法人化」体制を決定したい。
- これまでの協議では、非営利目的では両者は同質であるが、募金活動等の次場面への広域展開を考えると、費用は要するが事務局負担が軽減できる「一般社団法人」が良いのではないかと。この方が、次展開での名称変更もしやすいメリットもある。
- 参加者合意で「一般社団法人」として準備し、登録を進める。
- ピースくまもと設立準備会事務局のスタートから3年が経過し、活動が困難な方もおられるので、次の活動への賛同等を確認する必要がある。新メンバーも参入いただき、体制整備を図り再スタートしたい。

(5)「現ピースくまもと設立準備会事務局会員」の新事務局会への移行・態度決定 資料5

- これまで参加の事務局員で参加が困難な方々もおられるので、**今後新体制となる事務局会への参加意向等を確認**したい。
- 別紙検討案の文言を整理して、事務局員に返信用封筒を入れての意向確認を行い、8月末を目処に集約する。
- 以下内容については次回以降で検討する。
 - ①募金、署名（開始時期・進め方・目標額・目標筆数 ほか）、定款（素案）
 - ②事務局体制（庶務・財政・渉外・広報・HP 等）
代表・副代表、事務局長・副事務局長、会計、監査、事務局員、庶務担当事務局員、
 - ③会事務局の場所、連絡先



創価学会熊本県本部提供のパネル類

4 今後3年間の活動・意見交換

コロナ災禍での共存 アフターコロナ時代でのミュージアムのあり方
「設立準備会」発会の集い 総会の持ち方 主要活動内容の紹介
HP公開・透明性 会員・賛助会員の募集 銀行等の口座開設

- どの様な「館設置スタイル」とするかの再確認が必要である。
- 館の機能として、**戦時の証言や戦時中の資料を掘り起こし、収集して残していくことも大切**だ。ブーゲンビル島会でのご遺族遺品等の保管等も今後の課題となろう。
- 近現代の戦時資料は、文化財としての認識が希薄で、館により取扱いに差異がある。熊本博物館所蔵資料見学でも指摘があったように、**地元資料の積極的で系統的収集も必要**である。
- 上村さん収蔵の戦時資料（子ども関連の全国からの収集資料を「昭和の戦争時代」として特別展示とする）が本ミュージアムの特徴ともなる。コロナ災禍の中ではあるが、上村さんに尽力いただき、整理や案内解説の作成を進めて、現在解説は1000点程度となっている。
- くまもと戦跡ネットメンバーでのHPへの掲載は250点程度であり、今後は継続的な作業が新体制で必要である。
- 天明校区での統合後の閉校施設の利用等**も、収蔵施設として活用の方向性も考えられるのではなかろうか。
- 市役所ロビーでの毎年恒例となる「平和展」開催や広島・長崎の平和祈念式典への参加、海外の姉妹都市への平和メッセージ等、**熊本市も丁寧に取り組んでいる**。
- 静岡平和資料センターでの戦後75年企画「戦争と静岡」では、オンラインミュージアムとして開催し、**SDGs「16項目 平和と公正をすべての人に」を表題**としている。本会でもこの取り組みを参考としたい。

5 連絡事項、その他

- 次回「**第18回ピースくまもと設立準備会事務局会**」は「**10月10日（日）**」で、「**午後1：30～ ウェルパルクまもと会議室**」予定

6 閉会挨拶

……ピースくまもと設立準備会事務局会 副代表 上村真理子
小山代表におかれましては、復調され元気なお姿で事務局会に参加いただき嬉しく思いました。コロナ災禍、猛暑のなかでの3ヶ月ぶりの開催となりました。熊本市松下副課長、合志市隅倉館長、平和憲法の会高山様も新たにご参加いただき貴重な意見をありがとうございました。
今回の事務局会で「一般社団法人」への方向性が決定しました。次回以降で十分な協議を進めていきますようお願いいたします。



上村真理子副代表の閉会挨拶



連絡先

ピースくまもと設立準備会事務局会 高谷 和生
自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp
HP <https://kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>